

令和4年8月30日

富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子 様

陳情書

1. 件名

- ・ 令和5年度県立雄山高校の募集定員について

2. 陳情者の住所及び氏名

- ・ 住所 立山町前沢 2 4 4 0

- ・ 氏名 立山町長 舟橋貴之



3. 陳情の内容

令和5年度の県立雄山高校の募集定員の見直しにあたっては、別添資料も十分に勘案していただき、公平かつ公正な取り扱いとなるよう要望する。



令和5年度県立高校定員の検討に係る補足資料

R4.8.30
立山町

1. 新川学区の高校の募集欠員状況（最終入学者）

市町村名	募集欠員状況										備考	
	H31	R2	R3	R4	単位：人数							
雄山高校 普通科	募集定員	120	120	120	120							R4
	入学者	120	119	120	120							
入善高校 普通科	募集定員	120	160	160	160	R2泊高校と統合						R4
	入学者	120	160	153	145							
桜井高校 普通科	欠員	0	0	△7	△15							R4
	募集定員	120	120	120	120	他に2学科あり						
魚津高校 普通科	欠員	0	△6	△3	△3							R4
	募集定員	160	160	160	160							
滑川高校 普通科	募集定員	80	80	80	80	他に3学科あり						R4
	入学者	80	80	80	80							
上市高校 総合学科	募集定員	160	160	150	150							R4
	入学者	160	156	150	136							
欠員	0	△4	0	△14								

・県教委から示された検討資料では、1次の志願倍率を重視しているが、各校の募集定員に対する欠員状況は、1次募集時ではなく、最終入学者で判断するのが適当。
 ・最終入学者で見ると、新川学区では、普通科、総合学科において定員割れが続いている高校がみられる。
 ・一方、雄山高校普通科は、毎年度定員どおりの入学者となっており、定員割れはない。
 ※雄山高校の令和2年度の欠員1人、… 受験日に1人の欠席があったもので、志願者数での定員割れはない。

2. 雄山高校普通科の地区別生徒状況（入学年度別）

市町村名	H31	R2	R3	R4	備考	R4
立山町	45	39	23	37		
富山市	60	68	77	70		23
上市町、舟橋村	14	12	12	10		15
その他	2	8	3	3		7
計	121	119	120	120		44

(雄山中学校3年生の進学状況)

市町村名	H31	R2	R3	R4	備考
雄山高校	51	45	27	39	
上市高校	18	12	24	29	
滑川高校	16	8	18	14	
新川東部の高校	8	5	4	2	魚津市以東
富山市内の高校	83	82	74	74	
その他	9	3	2	11	射水市以西など
国立・私立・その他	59	72	69	64	
計	244	227	218	233	

・雄山高校普通科の入学者は、地元立山町や近隣市町村のほかは、富山市からが多い。これら以外の市町村からの入学生はほとんどいない。
 ・一方、地元雄山中学校の進学先は、県立高校では、雄山高校のほかは、富山市内の高校が多い。新川東部の県立高校に進学する生徒はほとんどいない。
 ・このことから、雄山高校普通科の学級数を減らしても、新川東部の高校を志望する学生はほとんどいないものと考えられ、新川東部の高校の定員割れの解消に寄与しないこととなる。

3. 町立中学校卒業予定者数と学級増減の累積状況

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	累積
中新川郡	516	473	486	543	486	458	425	413	432	394	399	405	
(前年比)	基準	▲43	▲13	▲57	▲57	▲28	▲33	▲12	▲19	▲38	▲5	▲6	
(対H26比)	基準	▲43	▲30	▲27	▲30	▲58	▲91	▲103	▲84	▲122	▲117	▲111	
学級減							20人減						
立山町	271	250	247	291	250	243	227	217	233	218	212	220	
(前年比)	基準	▲21	▲3	▲44	▲41	▲7	▲16	▲10	▲16	▲15	▲6	▲8	
(対H26比)	基準	▲21	▲24	▲20	▲21	▲28	▲44	▲54	▲38	▲53	▲59	▲51	
学級減							10人減						
上市町	197	182	188	212	185	178	160	163	152	142	147	147	
(前年比)	基準	▲15	▲6	▲24	▲27	▲7	▲18	▲3	▲11	▲10	▲5	▲0	
(対H26比)	基準	▲15	▲9	▲15	▲12	▲19	▲37	▲34	▲45	▲55	▲50	▲50	
学級減							10人減						
舟橋村	48	41	51	40	52	37	38	33	47	34	40	38	
(前年比)	基準	▲7	▲10	▲11	▲12	▲15	▲1	▲5	▲14	▲13	▲6	▲2	
(対H26比)	基準	▲7	▲3	▲8	▲4	▲11	▲10	▲15	▲1	▲14	▲8	▲10	

(資料：立山町教育委員会調べ、各年度の5月1日現在の生徒数、R5以降は見込み)

・県検討資料では、中新川郡をまとめて整理されているが、中新川郡の各町村の卒業予定者の減少数は、立山町と上市町ではほぼ同じ水準で推移。人口規模を考慮すると、立山町の方が減少率が低い。
 ・R2年度の募集定員は両町同数で調整されており、今回の雄山高校のみの学級数減は不公平な取り扱いはない。

4. 雄山高校の生徒数の状況（令和4年4月現在）

	単位：人数											
	1学年		2学年		3学年		合計		R4.5現在			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	計
普通科	45	75	120	49	68	117	49	66	115	143	209	352
生活文化科	0	25	25	2	26	28	0	38	38	2	89	91
合計	45	100	145	51	94	145	49	104	153	145	298	443
	男女比 33% 67% 100%											

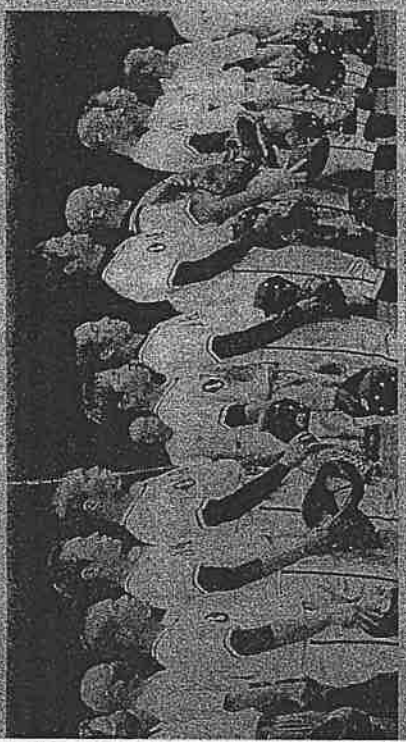
	単位：人数											
	1学年		2学年		3学年		合計		R4.5現在			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	計
普通科	30	50	80	45	75	120	49	68	117	124	193	317
生活文化科	0	40	40	0	25	25	2	26	28	2	91	93
合計	30	90	120	45	100	145	51	94	145	126	284	410
	男女比 25% 75% 100%											

・県検討資料では、生徒の男女比率が考慮されていない。雄山高校の生活文化科はほとんどが女子で、普通科も約6割が女子、合計では約7割が女子となっている。
 ・普通科の定員を減らし、生活文化科の定員を増やすと、ますます女子の比率が高くなる。
 ・男子生徒の割合のさらなる減少は、これまで以上に女子中心の学校と認識されること、特に部活動での団体競技の選抜が限定されることなど、学校自体の魅力の大幅な低下につながり、大きな問題。

雄山打線爆発14得点

10年ぶり夏一勝喜ぶ

雄山 山下 中 央 紙



【本紙記者 雄山 山下 中 央 紙】

雄山高校野球部は、10年ぶりに夏の甲子園大会に出場し、初戦で東北福祉大に勝利した。この勝利は、チームにとって大きな励みとなり、選手たちは「夏の甲子園大会に出場できるのは、本当にうれしい」と喜びを表現している。

この勝利は、チームにとって大きな励みとなり、選手たちは「夏の甲子園大会に出場できるのは、本当にうれしい」と喜びを表現している。

県立高のあり方

良 抜本的な議論要請

県議会 地域別の検討求める

県議会議員有志が、県立高校のあり方について、抜本的な議論を要請する。県議会議員有志は、県立高校のあり方について、抜本的な議論を要請する。県議会議員有志は、県立高校のあり方について、抜本的な議論を要請する。

県議会議員有志は、県立高校のあり方について、抜本的な議論を要請する。県議会議員有志は、県立高校のあり方について、抜本的な議論を要請する。

高校在り方抜本見直しを

県議会議員2会派 知事に申し入れ

2022年度の県立高校の抜本的な見直しを、県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

定員削減問題

県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。県議会議員有志2会派は、知事に申し入れた。

2022.8.27(土) 富山新聞

2022.8.27(土) 北日本新聞

町長への手紙

立山町へのご郵局、ご挨拶など、町長様の声をとお聞かせください。いただいたご意見等は、個人情報等を除き、提案箱ではの掲示版にて回答します。

(※ただし、匿名のものや回答不能なものは除きます。また、プライバシーに

住所 富山県 〇〇市 〇〇町 〇〇番 〇〇号 年齢 17

ご意見等

私は立山町立山高校の生徒です。
二コースで学年の普通科の募集定数を減らすことに関して、反対です。
母校の存在意義が小さくなる、部活動や行事、小中学校、自然体験、立山線の利用者を減らす、反対です。
もし、反対意見を反映させる八です。

富山県立山町立山高校 〇〇市 〇〇町 〇〇番 〇〇号

2022.8.22(日)発行 「町長への手紙」掲載